

事業報告

令和3年度会津・山形「体験の風をおこそう」
運動推進事業「あらうんどキャンプ」



令和4年1月8日(土)～1月10日(月)

【参加者】 福島県山形県の小学4年生～6年生
【場所】 福島県会津自然の家
山形県飯豊少年自然の家

○協力

福島県会津自然の家 山形県飯豊少年自然の家

○事業趣旨

福島県会津地域及び山形県置賜地域の国立及び県立施設が連携し、地域の子供たちに冬の体験活動の機会を提供することにより、子供たちの運動不足問題の解決につなげるとともに、各施設の魅力を広く発信する。

○活動日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1月8日 (土)							受付 昼食	開会式 タイムビルディング	会津プログラム① スノーシュー体験		ベッドメイク 休憩	夕食	会津 プログラム② 会津の昔話		入浴		就寝
1月9日 (日)	起床 宿泊室 洗面 清掃	朝食	荷物 まとめ	宿泊室 点検	会津プログラム③ 雪玉ストラックアウト そり・チューブ滑り	着替え	昼食	退所式	山形県飯豊少年自然の家に 移動	入所式	飯豊プログラム① 雪灯籠作り	夕食	ベッド メイク	飯豊 プログラム② 雪灯籠 キャンドル	入浴	飯豊 プログラム③ 焼き マシュマロ	就寝
1月10日 (月)	起床 宿泊室 洗面 清掃	朝食	荷物 まとめ	宿泊室 点検	飯豊プログラム④ スノーハイク 雪上かるた	着替え	昼食	閉会式									

○参加者内訳

対象	福島県	山形県	計
男子	6	5	11
女子	5	6	11
合計	11	11	22



概要

福島県・山形県の小学4年生から6年生を対象に、前半を福島県会津自然の家、後半を山形県飯豊少年自然の家を会場に事業を展開した。運営については、各自然の家職員の多大なる協力・指導のもと、各施設の特徴的な体験プログラムを提供していただいた。今年は積雪も十分にあり、天候も良好であったため、野外活動も非常に良好な条件で体験ができた。

○トピックス

「会津プログラム①スノーシュー体験」

福島県会津自然の家の研修指導員によるスノーシューハイキング及び自然観察を実施した。子供たちはスノーシューを使用して雪深いフィールドを散策しながら、研修指導員から冬の自然の特徴や越冬する生物などについて学んだ。ハイキング後は研修指導員による自然の特質についての講義を聞き、スノーシューで自然観察する体験を振り返りながらより深い学びにつなげた。



「会津プログラム②会津の昔話」

このプログラムでは、研修指導員の語り部による様々な昔話や手遊びを通して、会津の歴史や文化、特産品等の由来などについて楽しく学ぶ時間となった。語り部の方は笑い話、怖い話、考えさせる話、伝説をわかりやすく伝える話など、バリエーション豊かな話を巧みな話術で展開し、子供たちは時間を忘れ食い入るように話を聞いていた。



「会津プログラム③雪玉ストラックアウト、そり・チューブ滑り」

雪玉ストラックアウトでは、参加者は思い切りの向かって雪玉を投げ楽しんでいた。山形の子供たちは会津の雪の質がいつも接しているものと少し違うことを感じとっていた。そり・チューブ滑りでは、子供たちは歓声をあげながら何度も何度も滑走し、フィールドには笑顔があふれていた。



「飯豊プログラム①雪灯籠（とうろう）作り プログラム③キャンドルサービス」

参加者は飯豊少年自然の家職員の指導のもと、雪を固め、ヘラを使いながら丁寧に灯籠を仕上げた。会津の子供は山形の子供同様、雪質の違いに気づき、手触りや硬さなど確かめていた。

夜には完成した灯籠に各自ろうそくで明かりを灯し、暖かな輝きに見入りつつ、他の参加者の作品を見ながら飯豊の幻想的な夜を楽しんだ。



「飯豊プログラム④焼きマシュマロ体験」

子供たちはマシュマロを自分で焼いて食べながら、これまでの活動のふりかえりや自分が住んでいる地域の話、学校のことを思い思いに語り合い、楽しく交流を深めていた。



「飯豊プログラム⑤スノーハイクと雪上レクリエーション」

飯豊少年自然の家職員の指導のもと、展望台を目指してスノーハイクを実施した。深い雪に足を取られながらも一歩一歩少しずつ歩を進め、全員が目的地に到着できた。展望台では、飯豊山、磐梯山、蔵王山など福島・山形を代表する山々を確認することができ、子供たちは景色を楽しむとともに、大きな声で山に呼びかけ、冬の山々に響き渡るやまびこに感動していた。

下山途中、雪上レクリエーションの雪上かるたプログラムを行った。子供たちは新雪のパウダースノーの雪原を全力で走り、かるためがけて思い切り飛び込み、全身で飯豊の雪を楽しんでいた。



○成果と課題○

<成果>

- 参加した子供たちは、活動をとおして、地域間交流を深め、福島・山形各地域の自然の特徴や歴史文化などについて深い学びを提供することができた。
- プログラム間の自由時間・休憩時間を長めに設定したことにより、子供たち同士で自由に遊び、交流する姿がみられ、プログラム以外の生活時間を通して交流を深めることができた。また、生活の中においては、進んでゴミの分別を手伝うなど自主的に協力して行動する姿勢がみられた。
- 参加者からは、「雪遊びが楽しかった」「色々な人と友達になれた」「楽しみにしていた昔話が聞いて良かった」「冬の山の景色がキレイだった」など好評を得た。



<課題>

- 今回は豊富な積雪に恵まれ、参加者に上質な雪上体験を提供することができたが、積雪が見込めなかった場合の代替プログラムがかなり限定的な内容となっていた。冬季プログラムは積雪状況によって大きく内容が左右されるため、十分な積雪が見込めない状況下でも楽しく効果的な代替プログラムを準備しておく必要がある。今後、同様の事業を実施する際は、事前に連携施設と綿密な調整等を行いたい。